

ラオス国「公共投資プログラム運営監理強化プロジェクト」PCAP2  
Project for Enhancing Capacity  
in Public Investment Program (PIP) Management

## 第6号

今号のハイライト ●P.2-3 特集—JOCV の声— ●P.4 The 4th JCC Report

2010年7月

Vol. 6

巻頭言

## 新しい目標と、新しい流れ

チーフアドバイザー  
奥村 一郎

**現**在、計画投資省（MPI）では、第7次国家社会経済開発計画（NSEDP）2011-2015を着々と策定しています。第7次NSEDPは、ミレニアムゴール2015の達成と、迫る2020年目標達成へのラストスパートをかけるための重要な計画です。まだドラフト段階ですが、近年達成してきた経済成長率7~8%台を維持しながら社会指標の飛躍的改善を目指す非常に意欲的な計画となる予定です。

公共投資プログラム（PIP）は、「NSEDP達成のための重要な手段のひとつ」とされています。PIPは、ラオスがここ10年で経験した経済成長の一旦を担っているのは間違いありませんが、果たして期待通りの効果を上げているかどうか、また開発予算を本当に効率的に使ってきたかに関しては、まだまだ改善の余地があると思います。この10年の順調な成長は国家的に推進してきた鉱業や電力等の大型事業によるものであり、改善しつつある教育や保健の状況はドナーの支援に拠るところが大きいといえます。翻って、村・郡・県が発案したPIP事業に関しては、それほど多くの成功事例は見られません。

幸い、ラオスはここ数年の世界的な不況にはそれほど影響を受けていません。これはラオ

スの開発ポテンシャルが不況を凌駕してきた良い証でもあります。今後は高成長を維持しながらも、国内予算財源で村・郡・県を発信ポイントとしたPIP事業でしっかりと効果を上げ、国の地力・基礎を築くことが必要となってきます。

PCAP1からPCAP2では、PIPの運営監理方法、及び国内予算を財源にした事業の予算管理、財務管理に関する改善や仕組み作りと、それらなるべく多くの職員に徹底させる取組みを行ってきました。それらの取組みは徐々に浸透し、年度予算サイクルを基軸としたPIPの全般的な運営監理の改善が見られます。一方で、PIP事業完成後の効果発現及びその持続、及び中長期的なPIP戦略の策定に関しては、更なる改善が必要です。

第7次NSEDPが2010年10月より実施されます。この新しい目標を達成するために、あるいは真の意味でPIPが「NSEDP達成のための重要な手段のひとつ」となるために、PCAPでは上述のような中長期的な視点をさらに取り入れ、引き続きMPIとともにPIP運営監理のレベル向上に邁進していきます。

# 特集

# — JOCV

現在、PCAP2プロジェクトでは、青年海外協力隊(JOVC)との

PCAP2との連携が期待されているJOVCは、現在2人—計画投資省とを、県や郡の現場へ普及していく重要な役割を担っています—。るといふJOVCならではの強みを生かし、日々現場で活躍されてい

## 西村豊聡

Toyoto Nishimura

サラワン県計画投資局(DPI)

サ バイディー！

初めまして。青年海外協力隊よりサラワン県計画投資局に派遣されております西村豊聡と申します。大学卒業後は民間企業での勤務、イギリスの大学院で開発学の修士号の取得、大学勤務を経てラオスに来ました。

サラワン県計画投資局の職員は優秀な方が多く、教えるより教わることが多い日々ですが、私はPCAP2を県レベルで浸透させるべく主に二つのことを課題として日々仕事をしています。一つは職員のPCAP2に関する能力の向上です。PCAP2の内容、制度を各職員が十全に理解し、行動に移せる

ことを目的としています。もう一つは制度上の問題点の発掘です。運用に関わる問題点を発見した場合はJICA専門家に報告し、制度の見直しを求めています。PCAP2の制度は各職員一人一人が使いこなせなければ形骸化してしまいます。その為、現場での制度の浸透と、上からの制度の見直しがあって初めて、PCAP2がより良い制度になっていくと考えています。

今後は最初の課題である職員の能力向上により力を入れていこうと考えています。県の計画投資局の職員以外にも、事業主となる各機関、あるいは郡の職員へのPCAP2の浸透

が目標です。これには密接なコミュニケーションが必要であり、ラオ語能力の向上が不可欠となり、目下ラオ語の勉強に励んでいます。

私がサラワン県計画投資局から離れる時、より多くの方がPCAP2の制度を理解し、行動していることが私の願いです。

最後にラオ人の友人に教えてもらった私の好きなラオス語の諺を紹介します。「一つの手は百人の口に勝る」です。常に現場を意識し、具体的な行動を起こしていくことをこれからも心がけていこうと思っています。

皆さまのご健勝とご活躍をお祈りしております。



サラワン県DPI職員らと西村隊長(右)

# の 声

連携の試みが始まっています。

PCAP2とが共同で開発した公共投資プログラムの運営監理手法  
本号では、高い語学力と、より現場に根差した活動が実施できるお二人のJOCVに話を聞きました。

## 飯塚大成 Taisei Iizuka

カムアン県計画投資局(DPI)

はじめまして。青年海外協力隊員21年度3次隊（派遣期間2010年1月～2012年1月）の飯塚大成（いづかたいせい）と申します。カムアン県にてPCAP2の活動に関らせていただいております。

私の活動内容はカムアン県計画投資局スタッフと共に、適正にPCAPの手法に基づいた公共投資事業の管理を実行することです。日本で企業に勤めていた際には、予算策定や資金繰り等に携わったので、特にPCAP2で導入された予算・財務管理手法で力を発揮できるのではと思っています。

現在カムアン県に赴任し3ヶ月弱が過ぎましたが、これまではPCAPの手法が現場でどのように実行されているか、ラオスの行政システム、カムアン県計画投資局スタッフの職制及び職務の理解に勤めました。今までのところはどちらかというと私自身の学びに重点を置いて活動して参りました



カムアン県DPI職員と飯塚隊員(右)

が、これから先、現状の理解が深まるにつれて、PCAP実行における提案等の能動的活動を行って参りたいと思います。

PCAP2では新たな手法の導入・改善がなされています。現場ではその進歩のスピードに追いついていない場面も見受けられます。現場にいる青年海外協力隊員として、PCAP2のスタッフおよび県計画投資局スタッフとのコミュニケーションを密にして、問題の発見・解決の一助となるように努めます。

# The 4th JCC Report



(From left to right): Mr. Vixay Xaovanna (DDG of Department of Evaluation, MPI), Mr. Bounthavy Sysouphanthong (Vice-Minister of MPI and Head of the JCC), Mr. Masato Togawa (Chief Representative of JICA Laos Office) and Mr. Ichiro Okumura (Chief Advisor of PCAP2)

**A** Joint Coordination Committee (JCC) is held every six months at the central level to review and manage the overall progress of the Project.

On March 31, 2010, PCAP2's 4th JCC meeting was held at the Lao Plaza Hotel with the following participants: Dr. Bounthavy Sysouphanthong, the Head of the JCC and Vice Minister of Planning and Investment and Project Director of PCAP2; JCC members including Mr. Vixay Xaovanna (Director General of the Department of Evaluation (DOE), MPI and Manager of PCAP2 Project), Mr. Ouneheuane Chittaphong (Deputy Director, Department of Planning (DOP), MPI and Vice Manager of PCAP2 Project), Mr. Masato Togawa (Chief Representative of JICA Laos Office), and Mr. Ichiro Okumura (Chief Advisor of PCAP2); and 38 people from the Department of Planning, the Department of Evaluation, the Department of International Cooperation, the Department of Organization and Personnel, and a few officials from the Ministry of Finance.

Here are the highlights of PCAP2's 4th JCC: 1) introduction to the newly approved Public Investment Law; 2) report on the results of the last PIP management training for the provinces and ministries; 3) presentation of the On-the-Job-Training procedures; 4) results of the financial management training; 5) presentation on the Official Development Assistance-National Contribution Budget (ODA-NCB) management training; and 6) upcoming activities for the next six months.

Here are the upcoming activities of MPI-PCAP2 project: 1) 2010/2011 PIP budget procedure support; 2) training evaluation/meta-evaluation; 3) Public Investment Law support; 4) improving manuals and handbooks; 5) preparation for PCAP2 3rd nationwide training; and 6) third country training.

(Reported by Ms. Mouthita PHONEPHETRATH and Ms. Douangchay INKEO, PCAP2 national consultant)

本誌「キャパディベ便り」に関する皆様のご意見・ご感想を是非お聞かせください！  
お問い合わせ大歓迎！連絡先はこちらです →  
jicapcap@laopdr.com 或いは PCAP2@icnet.co.jp

発行人：PCAP2プロジェクト

宛先：c/o JICA Laos Office,  
P. O. BOX 3933 Vientiane, LAOS  
電話/FAX：+856-21-243-687